

3. 大規模施設園芸及び植物工場の施設数

3. 1. 施設数の推移

実態調査の一環として、高度な環境制御を行う植物工場・大規模施設園芸の施設数を整理した。本調査の対象は、生産物の販売を目的として運営している事業者とし、研究開発や展示のみを目的とした施設、自家消費用の植物（苗を含む）を生産している施設は対象としない。また、太陽光型は、施設面積が概ね 1ha 以上で養液栽培装置を有する大規模施設を対象とした。

なお、施設数は平成 21 年 3 月時点から集計しているが、太陽光型は必ずしも網羅的に把握できていない可能性があり、また平成 28 年度調査から、施設面積が概ね 1ha 以上で養液栽培装置を有する施設に限定した。そのため、施設の規模などが確認できない施設は、リストに掲載しないこととしたため、参考値としている。

情報源は、各種新聞やニュースリリース、一般社団法人日本施設園芸協会が持つ情報をもとにしている。また、実態調査の回答者以外についても、原則として令和 4 年 2 月時点での施設整備、操業状況を把握できた範囲で整理した。

これによると、太陽光型は 176 箇所、太陽光・人工光併用型は 38 箇所、人工光型は 190 箇所であった。昨年度と比較して、太陽光型は 6 件の増加、併用型は 5 件の増加、人工光型は 3 件の増加によるものである。なお、増加件数は今年度新設されたものとは限らない。

図表 74 施設数の推移

調査時期	太陽光型	太陽光 人工光併用型	人工光型
令和 4 年 2 月時点	176 箇所※1	38 箇所	190 箇所
令和 3 年 2 月時点	170 箇所※1	33 箇所	187 箇所
令和 2 年 2 月時点	164 箇所※1	35 箇所	187 箇所
平成 31 年 2 月時点	160 箇所※1	30 箇所	202 箇所※2
平成 30 年 2 月時点	158 箇所※1	32 箇所	183 箇所
平成 29 年 2 月時点	126 箇所※1	31 箇所	197 箇所
平成 28 年 2 月時点	79 箇所※1	36 箇所	191 箇所
平成 27 年 3 月時点	195 箇所	33 箇所	185 箇所
平成 26 年 3 月時点	185 箇所	33 箇所	165 箇所
平成 25 年 3 月時点	151 箇所	28 箇所	125 箇所
平成 24 年 3 月時点	83 箇所	21 箇所	106 箇所

※1 平成 27 年度以降の「太陽光型」は、施設面積が概ね 1ha 以上で養液栽培装置を有する施設（大規模施設園芸）に限る。

※2 平成 31 年度の「人工光型」は、研究開発や展示目的等のものも含まれていた可能性がある。

3. 2. 大規模施設園芸及び植物工場の一覧

◆太陽光型植物工場（大規模施設園芸：概ね 1ha 以上の養液栽培施設）

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
1	北海道	株式会社Jファーム	札幌工場
2	北海道	株式会社Jファーム	苫小牧工場
3	北海道	株式会社アド・ワン・ファーム	丘珠農場
4	北海道	株式会社アド・ワン・ファーム	豊浦農場
5	北海道	株式会社北栄ファーム	
6	北海道	士幌町農業協同組合寒地バイテク研究所	
7	北海道	苫東ファーム株式会社	
8	北海道	農地所有適格法人神内ファーム二十一株式会社	
9	青森県	環境緑花工業株式会社	植物工場
10	岩手県	株式会社いわて銀河農園	
11	岩手県	株式会社ネクスグループ	
12	宮城県	マキシマファーム株式会社	
13	宮城県	リッチフィールド栗原有限会社	
14	宮城県	株式会社 GRA	
15	宮城県	株式会社アグリ・パレット	
16	宮城県	株式会社イグナルファーム大郷	
17	宮城県	株式会社スマイルファーム石巻	A 棟
18	宮城県	株式会社デ・リーフデ北上	
19	宮城県	株式会社ベジ・ドリーム栗原	第 2 農場
20	宮城県	山元いちご農園株式会社	鉄骨ハウス
21	宮城県	株式会社東北アグリヒト	
22	宮城県	株式会社舞台ファーム	美里グリーンベース
23	宮城県	有限会社サンアグリしわひめ	
24	宮城県	有限会社サンフレッシュセツ森	
25	宮城県	有限会社サンフレッシュ松島	
26	山形県	株式会社平洲農園	
27	山形県	有限会社オキツローズナーセリー	
28	福島県	いわき小名浜菜園株式会社	
29	福島県	一般社団法人あすびと福島	
30	福島県	株式会社 JR とまとランドいわきファーム	
31	福島県	株式会社ひばり菜園	
32	福島県	株式会社新地アグリグリーン	
33	福島県	有限会社とまとランドいわき	
34	茨城県	アグリグリーン株式会社	
35	茨城県	ベルグアース株式会社	茨城農場
36	茨城県	株式会社Tedy	
37	茨城県	株式会社オスミックアグリ茨城	
38	茨城県	株式会社サニークラブ	
39	茨城県	株式会社ドロップ	
40	茨城県	株式会社プランターファーム	

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
41	茨城県	株式会社リッチフィールド美浦	
42	茨城県	株式会社一農	
43	茨城県	株式会社美浦ハイテクファーム	
44	茨城県	株式会社北茨城ファーム	
45	茨城県	有限会社美野里菜園	
46	栃木県	サンファーム・オオヤマ有限会社	
47	栃木県	株式会社トマトパーク	
48	栃木県	株式会社小林菜園	
49	群馬県	有限会社クリーンファーム青柳	
50	群馬県	有限会社ファームクラブ	
51	群馬県	有限会社多々良フレッシュファーム	
52	埼玉県	イオンアグリ創造株式会社	イオン埼玉久喜農場
53	埼玉県	イオンアグリ創造株式会社	埼玉羽生農場
54	埼玉県	イオンアグリ創造株式会社	埼玉松伏農場
55	千葉県	イオンアグリ創造株式会社	千葉柏農場
56	千葉県	株式会社オスミックアグリ千葉	
57	千葉県	株式会社グランブーケ大多喜	
58	千葉県	株式会社君津とまとガーデン	
59	千葉県	株式会社山田みどり菜園	
60	千葉県	株式会社綿貫園芸	
61	千葉県	株式会社葉っぱや	
62	千葉県	千葉ベビーリーフ菜園株式会社	
63	千葉県	農事組合法人ベジワン旭	
64	千葉県	有限会社さかき	さかき小見川農場
65	東京都	関ファーム	
66	神奈川県	株式会社井出トマト農園	
67	新潟県	エンカレッジファーマーミグ株式会社	
68	福井県	株式会社苗屋	
69	福井県	株式会社福井和郷	太陽光利用型トマトハウス
70	山梨県	株式会社 NSD ハケ岳ファーム	
71	山梨県	株式会社アグリサイト	
72	山梨県	株式会社サラダボウル	
73	山梨県	株式会社ベジ・ワン北杜	
74	山梨県	株式会社村上農園	山梨北杜生産センター
75	山梨県	株式会社明野九州屋ファーム	
76	山梨県	日通ファーム株式会社	
77	長野県	GOKO カメラ株式会社	GOKO とまとむら
78	長野県	株式会社エア・ウォーター農園	安曇野菜園
79	長野県	株式会社サンファーム軽井沢	
80	長野県	株式会社須藤物産	
81	長野県	住化ファーム長野 中野営業所	
82	岐阜県	はげした農園	
83	岐阜県	株式会社サラダコスモ	中津川サラダ農園
84	岐阜県	株式会社東海環境ディベロップ	フラップハウス 水耕栽培

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
85	岐阜県	野田農産株式会社	
86	静岡県	ベルファーム株式会社	
87	静岡県	株式会社スマートアグリカルチャー磐田	
88	静岡県	農事組合法人大久保園芸	
89	静岡県	有限会社柏原農園	
90	愛知県	農事組合法人アグリパーク南陽	
91	三重県	株式会社アグリッド	
92	三重県	株式会社住化ファーム三重 (有限会社三重リーフ)	
93	三重県	株式会社浅井農園	
94	三重県	東海運株式会社	AZUMA FARM 三重
95	滋賀県	株式会社アグテコ	
96	滋賀県	株式会社青友農産	
97	滋賀県	浅小井農園株式会社	
98	兵庫県	やぶファーム株式会社	やぶファーム
99	兵庫県	株式会社兵庫ネクストファーム	
100	島根県	JA いずもアグリ開発株式会社	出雲やさい親話ファーム 「出雲 vege」
101	岡山県	株式会社サラ	
102	広島県	世羅菜園株式会社	本社農場
103	山口県	株式会社内日アグリ	
104	山口県	有限会社アグリセゾン	
105	山口県	有限会社アグリプラント	
106	徳島県	あなントマトファクトリー株式会社	
107	徳島県	株式会社カネイファーム	
108	徳島県	有限会社檜山農園	
109	愛媛県	ベルグアース株式会社	太陽光型植物工場
110	愛媛県	有限会社CBC予子林	
111	高知県	JA 高知県出資農業生産法人 株式会社南国スタイル	次世代ハウス
112	高知県	四万十とまと株式会社	
113	佐賀県	JR九州ファーム株式会社	新富農場
114	佐賀県	グリーンラボ株式会社	佐賀市ファーム
115	佐賀県	全国農業協同組合連合会	ゆめファーム全農 SAGA
116	長崎県	株式会社 FA ながさき	
117	熊本県	JR九州ファーム株式会社	玉名農場
118	熊本県	株式会社果実堂	
119	熊本県	有限会社阿蘇健康農園	
120	大分県	株式会社タカヒコアグロビジネス	愛彩ファーム九重
121	大分県	株式会社安心院オーガニックファーム	
122	大分県	株式会社アクトいちごファーム	
123	大分県	株式会社ビヘクトファーム	
124	大分県	株式会社リッチフィールド由布	
125	大分県	株式会社奥松農園くにさき	

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
126	大分県	株式会社住化ファームおおいた	
127	大分県	株式会社大分和郷	
128	大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	ウェルファーム MINORI
129	大分県	有限会社ベストクropp	
130	大分県	有限会社育葉産業	
131	宮崎県	JR九州ファーム株式会社	
132	宮崎県	株式会社ひむか野菜光房	
133	宮崎県	株式会社宮崎なかむら農園	
134	宮崎県	有限会社ジェイエイファームみやざき中央	次世代施設園芸団地
135	沖縄県	株式会社沖縄村上農園	大宜味生産センター
136	沖縄県	日本流通システム株式会社	伊是名イチゴ農園

注：上記施設のほかに、実態調査施設の立地場所、プラント名称、実施事業者名の掲載に承諾が得られなかった施設が 40 箇所ある。

◆太陽光・人工光併用型植物工場

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
1	北海道	ほしぼふぁーむ	
2	北海道	株式会社北海道サラダパブリカ	
3	岩手県	株式会社リアスターファーム	
4	宮城県	株式会社燦燦園	
5	宮城県	株式会社一蓐一笑	
6	福島県	株式会社ネクサスファームおおくま	
7	栃木県	全国農業協同組合連合会 栃木県本部	
8	千葉県	株式会社ハルディン	
9	千葉県	株式会社プランツファクトリーインザイ	
10	千葉県	株式会社メックアグリ	
11	新潟県	株式会社グリーンズプラント中越	
12	新潟県	株式会社妙高ガーデン	
13	新潟県	有限会社グリーンズプラント巻	角田浜農場
14	富山県	株式会社富山環境整備	
15	長野県	農業生産法人こもろ布引いちご園株式会社	こもろ布引いちご園
16	岐阜県	農業生産法人わかば農園株式会社	
17	静岡県	テングリーンファクトリー	
18	静岡県	株式会社浜松ホトアグリ	
19	愛知県	アグリガスコム株式会社	
20	愛知県	豊川洋蘭園	
21	広島県	イノチオフローラ株式会社	
22	山口県	藤野バラ園	
23	愛媛県	株式会社石川興産 元気な野菜ファーム	
24	愛媛県	株式会社葉月	
25	福岡県	エスジーグリーンハウス株式会社	
26	福岡県	有限会社コスモファーム	
27	大分県	有限会社スウェデポニック久住	久住高原野菜工房

注：上記施設のほかに、実態調査施設の立地場所、プラント名称、実施事業者名の掲載に承諾が得られなかった施設が 11 箇所ある。

◆人工光型植物工場

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
1	北海道	株式会社土谷特殊農機具製作所	
2	北海道	社会福祉法人旭川光風会	スリーエフ
3	岩手県	軽米町役場	旧笹渡小中学校 植物工場
4	岩手県	有限会社那須野製作所	
5	宮城県	セコム工業株式会社	セコムハイプラント
6	宮城県	株式会社向陽アドバンス	
7	宮城県	株式会社東松島ファーム	東松島ファーム
8	宮城県	六丁目農園	
9	秋田県	株式会社スクールファーム河辺	
10	秋田県	株式会社バイテックファーム鹿角	
11	秋田県	株式会社バイテックファーム大館	
12	山形県	遠藤商事株式会社	イーベジ・ファーム
13	山形県	株式会社山形包徳	フレッシュファクトリー
14	山形県	有限会社安全野菜工場	
15	福島県	株式会社 A - P l u s	Farm & Factory TAMURA
16	福島県	キューピー株式会社 グリーンファクトリーセンター	TSファーム白河
17	福島県	株式会社 KiMiDoRi	
18	福島県	株式会社しらかわ五葉倶楽部	
19	福島県	磐栄アグリカルチャー株式会社	
20	茨城県	BS東日本テック株式会社	ハーブ工房
21	茨城県	NPO 法人歩実	植物工場
22	茨城県	ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス 株式会社	グリーングローワーズ
23	茨城県	株式会社野菜工房	茨城那珂工場
24	茨城県	昭和産業株式会社	鹿島第二工場内 植物工場
25	栃木県	フタバ食品株式会社	フードサービス部
26	栃木県	株式会社丸和製作所	矢板工場
27	栃木県	株式会社田代製作所	
28	群馬県	株式会社大泉野菜工房	R・S ファーム
29	群馬県	石川工業株式会社 愛菜課	
30	群馬県	特定非営利活動法人ソーシャルハウス	ソーシャルハウス
31	埼玉県	プランツラボラトリー株式会社	プットファーム
32	埼玉県	株式会社ベジノーバ	加須工場
33	埼玉県	合同会社西友	店内植物工場
34	埼玉県	有限会社平成クリーン野菜工場	
35	千葉県	コンフォートホテル成田	シェフの菜園レストラン
36	千葉県	デリシャス・クック株式会社	習志野工場
37	千葉県	株式会社壺番屋	千葉植物工場
38	千葉県	有限会社アーバンファーム	柏工場
39	千葉県	有限会社アーバンファーム	野田工場
40	東京都	Infarm-Indoor Urban Farming Japan 株式会社	
41	東京都	エスペックミック株式会社	羽田ラボ

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
42	東京都	サミット株式会社	店内栽培「インファーム」
43	東京都	ヒューマンライフケア株式会社	
44	東京都	学校法人玉川学園 玉川大学農学部	玉川大学サイテックファーム
45	東京都	株式会社マリモ	御苑植物工場
46	東京都	株式会社伊東屋	
47	東京都	株式会社紀ノ國屋	店内栽培「インファーム」
48	東京都	京王電鉄株式会社	京王栽培研究所
49	東京都	就労継続支援 B 型事業所 グリーンカフェ	
50	東京都	東京地下鉄株式会社	メトロ野菜センター
51	東京都	東京都板橋福祉工場	
52	東京都	有限会社東京ドリーム	
53	神奈川県	T&Nアグリ株式会社	鳥浜グリーンファーム
54	神奈川県	プライムデリカ株式会社	Sagamihara Vegetable Plant (相模原ベジタブルプラント)
55	神奈川県	一般社団法人全国住環境改善事業協会	植物工場
56	神奈川県	株式会社 Shune365	
57	神奈川県	株式会社アグリ王	新横浜 LED 菜園
58	神奈川県	株式会社エネショウ	
59	神奈川県	株式会社キーストンテクノロジー	馬車道 LED 菜園
60	神奈川県	株式会社ビルドアート	
61	新潟県	RYOKI PLANT FACTORY 浦佐合同会社	
62	新潟県	いちごカンパニー株式会社	
63	新潟県	株式会社クリーンリード	
64	新潟県	株式会社データドック	アクアポニックス長岡プラント
65	新潟県	株式会社脇坂園芸	植物工場
66	新潟県	有限会社ビジョン・クエスト	
67	富山県	株式会社エフ&エフ	製造工場
68	富山県	株式会社健菜堂	牛岳温泉植物工場
69	富山県	東亜合成株式会社 高岡工場	植物工場
70	富山県	北陸機材株式会社スマイルリーフ	
71	富山県	有限会社小竹商店	高岡植物工場
72	石川県	アイティエムファーム株式会社	
73	石川県	あずま一植物工場株式会社	石川工場
74	石川県	ビストロ・ウールー	レストラン店舗内野菜栽培
75	石川県	株式会社バイテックファーム七尾	七尾工場
76	石川県	株式会社ビルドス	植物工場
77	石川県	株式会社メープルハウス	高柳店植物工場
78	石川県	社会福祉法人南陽園	しあわせ食彩ゴッツォオーネ
79	福井県	アグリト株式会社	美浜 LAB
80	福井県	グローアンドグロー株式会社	ベジグー小浜植物工場
81	福井県	株式会社 NOUMANN	
82	福井県	株式会社キヨカワ	Pure River Vege
83	福井県	株式会社コスモサンファーム福井	

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
84	福井県	株式会社フレデリッシュ	
85	福井県	株式会社野菜工房	福井南越前工場
86	福井県	社会福祉法人わかたけ共済部	アクアファーム植物工場
87	山梨県	ユニテック株式会社	ユニファーム
88	長野県	株式会社オオノタ	安曇野三郷ハイテクファーム
89	長野県	株式会社ストリーム	水耕栽培工場
90	長野県	株式会社パスカル	植物工場
91	長野県	株式会社ミスズライフ	能登工場
92	長野県	株式会社徳永電気	グリーンリーフ信州
93	岐阜県	株式会社奥飛騨ファーム	温泉暖房 LED 熱帯植物工場
94	岐阜県	協栄興業株式会社	あかりえ菜園 美濃
95	岐阜県	東海西濃運輸株式会社	コトノハフレッシュファーム
96	静岡県	楽天ソシオビジネス株式会社・磐田ファクトリー	
97	静岡県	株式会社 NLM エカル	
98	静岡県	株式会社木田屋商店 小浜植物工場グリーンランド	グリーンランド富士工場
99	静岡県	近藤鋼材	柿田川野菜ミツイシ植物工房
100	静岡県	彩葉生活合同会社	藤枝工場
101	静岡県	富士山グリーンファーム株式会社	富士山グリーンファーム
102	静岡県	有限会社新日邦	808FACTORY
103	愛知県	株式会社シンワ	
104	愛知県	豊田鉄工株式会社	アグリカルチャーR&Dセンター
105	三重県	株式会社晃商	名張シティファーム
106	三重県	株式会社丸和製作所	安濃工場 農場事業部
107	三重県	植物工場 伊勢菜園	
108	滋賀県	日本アドバンストアグリ株式会社	長浜工場
109	京都府	株式会社 YASAI	
110	大阪府	NTTビジネスソリューションズ株式会社	
111	大阪府	まちなかファームくれは	
112	大阪府	株式会社みらくるグリーン	
113	大阪府	大阪堺植物工場株式会社	大阪府立大学 新世代植物工場
114	大阪府	大阪堺植物工場株式会社	南花田ラボ
115	大阪府	日本サブウェイ合同会社	野菜ラボグランフロント大阪店
116	兵庫県	オリックス農業株式会社	養父レタス工場
117	兵庫県	株式会社森久エンジニアリング	合同会社 MJV1 号
118	兵庫県	株式会社平尾工務店	木心ファーム
119	兵庫県	関西鉄工株式会社	植物工場
120	兵庫県	阪神電気鉄道株式会社	阪神野菜試験栽培所
121	兵庫県	日章興産株式会社	植物工場
122	兵庫県	日本山村硝子株式会社	
123	兵庫県	兵庫ナカバヤシ株式会社	関宮分工場内プラントセンター
124	奈良県	奈良交通株式会社	まほろば水耕園
125	和歌山県	有限会社日高シードリング	
126	鳥取県	おしどり調剤薬局有限会社	スプラウト工場

No.	都道府県	実施事業者	プラント名称
127	鳥取県	愛ファクトリー株式会社	
128	岡山県	Y&G.ディストリビューター株式会社	やさい蔵
129	岡山県	旭テクノプラント株式会社	ホワイトベース植物工場
130	岡山県	有限会社翔和	日なたぼっこ植物工場
131	岡山県	両備ホールディングス株式会社	京山ソーラーグリーンパーク
132	広島県	株式会社フューレック	レストラン「ダマンマ」野菜蔵
133	広島県	株式会社野菜工房たけはら	
134	山口県	株式会社ウベモク	ウベモクファーム
135	徳島県	オーゲツ株式会社	小松島工場
136	徳島県	株式会社西瀬スレート工業所	COCON
137	徳島県	株式会社那賀ベジタブル	
138	徳島県	技の館	植物工場
139	徳島県	日清紡ホールディングス株式会社	徳島事業所 いちご工場
140	徳島県	有限会社徳島シードリング	
141	香川県	四国計測工業株式会社	さぬき野菜工房
142	愛媛県	株式会社エヌ・ピー・シー	松山工場
143	福岡県	株式会社オーレック	植物工場
144	福岡県	株式会社ハコブネ	未来農業ラボ 895
145	佐賀県	元気村ヴィレッジファーム	
146	佐賀県	社会福祉法人かささぎ福祉会	スマートアグリかささぎ
147	長崎県	株式会社庄屋フードシステム	レストラン「マルゲリータ」植物工場
148	長崎県	社会福祉法人蓮華園 波佐見授産場	
149	熊本県	有限会社クリエイト光	ひかりっこ工房、 屋久島アグリーみらい
150	熊本県	有限会社中川産業	健康野菜村
151	大分県	九州ジーシー株式会社	大分日田工場
152	鹿児島県	バイテックファーム薩摩川内	
153	鹿児島県	旭信興産株式会社	鹿屋リーフ館
154	鹿児島県	株式会社Misumi	ミスミ野菜工場 始良
155	鹿児島県	株式会社ベジタブルランド鹿児島	
156	鹿児島県	日本ガス株式会社	植物工場
157	沖縄県	沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社	大宜味ファーム
158	沖縄県	沖縄セルラー電話株式会社	
159	沖縄県	株式会社JCC	植物工場
160	沖縄県	株式会社インターナショナル・ローカル	糸満工場
161	沖縄県	株式会社エスペレ	ソーシャルサポート・エスペレ (植物工場)
162	沖縄県	社会福祉法人そてつの会	ドリームファーム そてつの風
163	沖縄県	中城デージファーム	
164	沖縄県	南大東村役場産業課	植物工場
165	沖縄県	有限会社黒島組	石垣島やさい工場
166	沖縄県	有限会社神谷産業	植物工場

注：上記施設のほかに、実態調査施設の立地場所、プラント名称、実施事業者名の掲載に承諾が得られなかった施設が 24 箇所ある。

参考：実態調査調査票
◆太陽光型/併用型植物工場用

施設園芸・植物工場の実態調査 調査票 太陽光型・併用型

I. 貴組織の概要について ※事前記載事項に間違いがございましたら赤字で訂正をお願い致します

事業者名			ウェブサイト URL		
組織形態 (1つに☑)	☐ 農地所有適格法人（農業生産法人） ☐ 農業者（個人） ☐ 株式会社（農地所有適格法人を除く） ☐ その他（具体的に				
施設名	☐ 事業者名に同じ			栽培開始年：西暦	年
施設住所				栽培用施設面積：	m
雇用者数	通年：正規 人、非正規・パート 人			期間雇用（ピーク時）	
	うち生産、出荷に関わる人員（正規 人、非正規・パート 人）			： 人	
	外国人実習生： 人			障がい者雇用： 人	
回答者ご連絡先 確認の連絡をさせて頂く場 合がございます	ご担当者名：			ご所属： ☐ 事業者 ☐ 施設	
	電話番号：			メールアドレス：	

1. 操業状況 当てはまるものに☑をつけてください

☐ 操業中	☐ 操業停止 理由をご記入ください（
------------------------------	---

※「操業停止」を選択された場合は、これで終了です。ご協力ありがとうございました。

2. 施設設置の主たる目的 当てはまるもの全てに☑をつけてください

☐ 農産物の生産・販売	☐ 原材料の調達（加工して販売）	☐ 設備の製造・販売	☐ その他（
------------------------------------	---	-----------------------------------	-------------------------------

II. 栽培について

1. 栽培形態 当てはまるもの全てに☑をつけ、使用開始年をご記入ください

☐ 太陽光のみ利用 ☐ 栽培のための補光あり ☐ 育苗のみ人工光を利用 ☐ その他（栽培以外の用途）
→「太陽光のみ利用」以外を選択した方は、光源を選択下さい（複数可）
☐ 高圧ナトリウム・蛍光灯等（使用開始 年） ☐ LED（使用開始 年） ☐ その他（ ）（使用開始 年）

2. 水源 当てはまるもの全てに☑をつけてください

養液用の原水は ☐ 上水 ☐ 井水 ☐ その他（例：雨水等
--

3. 暖房などの熱源 当てはまるもの全てに☑をつけてください

熱源	☐ 燃油 ☐ 電気（ ☐ 農業用ヒートポンプ ☐ 家庭用ヒートポンプ ☐ その他） ☐ ガス・LPG
	☐ バイオマス（ペレット・チップ・その他） ☐ その他（

4. 栽培品目とその栽培実面積・年間生産量・栽培期間 それぞれご記入・ご選択ください

	①主要品目	②その他品目	③その他品目
(ア)品目名			
(イ)栽培実面積※	m	m	m
(ウ)年間生産量	t/年	t/年	t/年
(エ)栽培期間	☐ 通年 ☐ 一時期（ 月～ 月）	☐ 通年 ☐ 一時期（ 月～ 月）	☐ 通年 ☐ 一時期（ 月～ 月）

※(イ)栽培実面積は、その作物を栽培する場所の合計面積をご回答下さい。

5. 労働時間 それぞれご記入ください

①施設全体(職員全員)の年間積算労働時間	年間	時間
②主要品目に係る年間積算労働時間	年間	時間
③主要品目に係る作業割合	育苗	% 定植 % 施肥 % 栽培管理※ %
合計 100%となるようご記入下さい	収穫	% 出荷（調製、選果、袋詰め） % その他 %

※栽培管理は、誘引・芽かき・葉かき・清掃・残渣処理などを含みます。

6. スマート化のシステム・ツールの導入状況 導入しているもの全てに☑をつけ、具体的なサービス・装置名（またはメーカー名）

をご記入ください ※1つのシステム・ツールに下記の複数の機能がある場合は、具体名欄に当該サービス・装置名をそれぞれご記入ください。

経営データ 管理	☐ ① 販売管理システム/アプリ（実績管理ツール等）（具体名：
	☐ ② 資材管理システム/アプリ（具体名：
	☐ ③ その他営農・販売支援システム/アプリ（EC・フリマアプリ等）（具体名：
栽培データ 活用	☐ ④ 栽培・作業記録・管理システム/アプリ（具体名：
	☐ ⑤ 防除記録・管理システム/アプリ（具体名：

ID: (Office Use)

⇒ 裏面に続く

環境制御	☐	⑥ 環境制御システム（具体名：_____）
自動運転・作業軽減（ロボット等）	☐	⑦ 定植・移植自動化装置（具体名：_____）
	☐	⑧ 収穫・搬送装置（具体名：_____）
	☐	⑨ 選果・包装装置（具体名：_____）
センシング・モニタリング	☐	⑩ 画像センシング（生育判定等）（具体名：_____）
	☐	⑪ 環境モニタリング（温湿度計測・記録システム等）（具体名：_____）
	☐	⑫ 作業モニタリング（IC タグ等を活用した管理システム等）（具体名：_____）
	☐	⑬ その他（具体名：_____）
その他	☐	⑭ （具体名：_____） ※例：AIを活用したその他システム等

7. スマート化のシステム・ツール導入後の効果 当てはまるもの全てに☒をつけてください

☐ 収量向上	☐ 作業量の減少	☐ 品質の向上・均一化	☐ 労務管理の適正化	☐ その他（_____）
-------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

8. スマート化のシステム・ツール導入・活用における課題 当てはまるもの全てに☒をつけてください

☐ 使用方法が難しい	☐ コストが高い	☐ 効果がわかりにくい	☐ その他（_____）
-----------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

Ⅲ. 経営について

1. 直近の営業利益の状況 当てはまるもの1つに☒をつけてください

☐ 黒字	☐ 収支均衡	☐ 赤字
-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------

2. 事業が安定的に黒字化または収支均衡となるまでに要した年数 当てはまるもの1つに☒をつけてください

☐ 施設稼働時から1～3年	☐ 4～6年	☐ 7～9年	☐ 10～15年	☐ 15年以上
--------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

3. 活用している行政等の補助金 当てはまるもの全てに☒をつけ、事業名・内容などをご記入ください

☐ 設備投資に対する補助	☐ その他（事業名または内容：_____）
-------------------------------------	--

4. 生産・経営上の課題と対策・工夫 当てはまるもの全てに☒をつけ、その対策・工夫をご記入ください

(ア)課題	☐ 収量の向上・安定	☐ 品質の向上・安定	☐ コスト削減	☐ 病虫害対策	☐ AI・スマート化への対応
	☐ 労務管理	☐ CO2 排出削減	☐ 新品種導入	☐ 販路開拓・営業	☐ 海外展開
	☐ その他（_____）				
(イ)上記課題およびその対策・工夫（自由記述） 例：収量安定のための二酸化炭素の施用、栽培技術向上のための作業工程の標準化等					

5. コスト構造 各費用の比率をご記入ください

(ア)費用比率	①人件費（_____ %）	④種苗・資材費（_____ %）	合計 100%となるようご記入下さい
	②減価償却費（_____ %）	⑤物流・輸送費（_____ %）	
	③水道光熱費（_____ %）	⑥その他（_____）（_____ %）	

6. 主な出荷先と市場出荷・契約栽培の割合 当てはまるもの全てに☒をつけ件数、割合をご記入ください

主な出荷先	☐ 市場出荷	販売額に占める	市場出荷の割合	_____ %
	☐ 市場外出荷（取引先の件数：_____ 件）		契約栽培の割合	_____ %

7. 新型コロナウイルス感染症拡大による影響／それに対する対策（自由記述）

※コロナ禍により日々の栽培・経営の中で生じた影響と、それに対処するために取った工夫／スマート化が役立った場面等ありましたら、ご自由にお答えください。

☐ 人手不足 ☐ 販売先・売上げ減少 ☐ 販売先・売上げ増加 ☐ 資金不足 ☐ 調達・流通関連 ☐ その他

【調査結果の公表について】

本調査は、統計処理のうえ、結果を取りまとめるとともに、以下の6つの項目の一覧表を作成する予定です。掲載不可をご希望する項目についてチェックをお願いします。 ※チェックがない場合には、公表に承諾いただいたとみなします。

☐ 掲載をすべて承諾しない

☐ 掲載を一部承諾しない

承諾しない項目（☐施設名 ☐組織/事業者名 ☐栽培実面積 ☐施設の型 ☐所在都道府県）

以上で調査は終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

◆人工光型植物工場用

施設園芸・植物工場の実態調査 調査票 人工光型

I. 貴組織の概要について ※事前記載事項に間違いがございましたら赤字で訂正をお願い致します

事業者名			ウェブサイト URL	
組織形態 (1つに☑)	☐ 農地所有適格法人（農業生産法人） ☐ 農業者（個人） ☐ 株式会社（農地所有適格法人を除く） ☐ その他（具体的に _____ ）			
施設名	☐ 事業者名に同じ _____		栽培開始年：西暦 _____ 年	
施設住所				
雇用者数	通年：正規 _____ 人、非正規・パート _____ 人		期間雇用（ピーク時） _____ 人	
	うち生産、出荷に関わる人員（正規 _____ 人、非正規・パート _____ 人）			
	外国人実習生： _____ 人		障がい者雇用： _____ 人	
回答者ご連絡先 確認の連絡をさせて頂く場合がございます	ご担当者名： _____		ご所属： ☐ 事業者 ☐ 施設	
	電話番号： _____		メールアドレス： _____	

1. 操業状況 当てはまるものに☑をつけてください

☐ 操業中 ☐ 操業停止 理由をご記入ください（ _____ ）

※「操業停止」と回答された方は、こちらで終了です。ご協力ありがとうございました。

2. 施設設置の主たる目的 当てはまるもの全てに☑をつけてください

☐ 農産物の生産・販売 ☐ 原材料の調達（加工して販売） ☐ 設備の製造・販売 ☐ その他（ _____ ）

3. 栽培用施設面積 事業所全体ではなく、生産に使っている衛生管理エリアの床面積、栽培トレイの総面積をご記入ください

衛生管理エリアの床面積： _____ m² 栽培トレイの総面積： _____ m²

II. 栽培について

1. 光源 当てはまるもの全てに☑をつけ、使用開始年をご記入ください

☐ 蛍光灯（使用開始 _____ 年） ☐ LED（使用開始 _____ 年） ☐ その他（ _____ （使用開始 _____ 年））

2. 養液栽培システム 当てはまるもの全てに☑をつけ、使用開始年をご記入ください

☐ DFT（使用開始 _____ 年） ☐ NFT（使用開始 _____ 年） ☐ その他（ _____ （使用開始 _____ 年））

3. 原水および再利用の有無 当てはまるもの全てに☑をつけてください

養液用の原水は、 ☐ 上水 ☐ 井水 ☐ その他（ _____ ）
 冷房・除湿時の結露水を養液タンクに戻して再利用していますか ☐ はい ☐ いいえ（理由： _____ ）

4. 栽培品目とその栽培実面積・年間生産量・栽培割合 それぞれご記入ください

	①主要品目	②その他品目	③その他品目
(ア)品目名			
(イ)栽培実面積※	_____ m ²	_____ m ²	_____ m ²
(ウ)年間生産量	_____ t/年	_____ t/年	_____ t/年
(エ)栽培割合	_____ %	_____ %	_____ %

※(イ)栽培実面積は、その作物を栽培する場所の合計面積をご回答下さい。（※多段式で複数段栽培している場合は各段の面積の合計をお答え下さい）

5. 労働時間 それぞれご記入ください

①施設全体（職員全員）の年間積算労働時間	年間 _____ 時間
②主要品目に係る年間積算労働時間	年間 _____ 時間
③主要品目に係る作業割合	播種 _____ % 移植・定植 _____ % 栽培管理 _____ % 収穫 _____ % 出荷（調整、袋詰め等） _____ % 洗浄 _____ % その他 _____ %
合計 100%となるようご記入下さい	

6. スマート化のシステム・ツールの導入状況 導入しているもの全てに☑をつけ、具体的なサービス・装置名（またはメーカー名）をご記入ください ※1つのシステム・ツールに下記の複数の機能がある場合は、具体名欄に当該サービス・装置名をそれぞれご記入ください。

経営データ 管理	☐ ① 販売管理システム/アプリ（実績管理ツール等）（具体名： _____ ）
	☐ ② 資材管理システム/アプリ（具体名： _____ ）
	☐ ③ その他営農・販売支援システム/アプリ（EC・フリマアプリ等）（具体名： _____ ）
栽培データ 活用	☐ ④ 栽培・作業記録・管理システム/アプリ（具体名： _____ ）
	☐ ⑤ 防除記録・管理システム/アプリ（具体名： _____ ）

ID: (Office Use)

⇒ 裏面に続く

環境制御	☐	⑥ 環境制御システム（具体名：_____）
自動運転・作業軽減	☐	⑦ 定植・移植自動化装置（具体名：_____）
（ロボット等）	☐	⑧ 収穫・搬送装置（具体名：_____）
	☐	⑨ 選果・包装装置（具体名：_____）
センシング・モニタリング	☐	⑩ 画像センシング（生育判定等）（具体名：_____）
	☐	⑪ 環境モニタリング（温湿度計測・記録システム等）（具体名：_____）
	☐	⑫ 作業モニタリング（IC タグ等を活用した管理システム等）（具体名：_____）
	☐	⑬ その他（具体名：_____）
その他	☐	⑭ _____） ※例：AI を活用したその他システム等

7. スマート化のシステム・ツール導入後の効果 当てはまるもの全てに☒をつけてください

☐ 収量向上	☐ 作業量の減少	☐ 品質の向上・均一化	☐ 労務管理の適正化	☐ その他（_____）
-------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

8. スマート化のシステム・ツール導入・活用における課題 当てはまるもの全てに☒をつけてください

☐ 使用方法が難しい	☐ コストが高い	☐ 効果がわかりにくい	☐ その他（_____）
-----------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

Ⅲ. 経営について

1. 直近の営業利益の状況 当てはまるもの1つに☒をつけてください

☐ 黒字	☐ 収支均衡	☐ 赤字
-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------

2. 事業が安定的に黒字化または収支均衡となるまでに要した年数 当てはまるもの1つに☒をつけてください

☐ 施設稼働時から1～3年	☐ 4～6年	☐ 7～9年	☐ 10～15年	☐ 15年以上
--------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

3. 活用している行政等の補助金 当てはまるもの全てに☒をつけてください

☐ 設備投資に対する補助	☐ その他（事業名または内容：_____）
-------------------------------------	--

4. 生産・経営上の課題と対策・工夫 当てはまるもの全てに☒をつけ、その対策・工夫をご記入ください

(ア)課題	☐ 収量の向上・安定	☐ 品質の向上・安定	☐ コスト削減	☐ 病虫害対策	☐ AI・スマート化への対応
	☐ 労務管理	☐ 環境への配慮	☐ 新品種導入	☐ 販路開拓・営業	☐ 海外展開
	☐ その他（_____）				
(イ)上記課題およびその対策・工夫（自由記述） 例：収量安定のための二酸化炭素の施用、栽培技術向上のための作業工程の標準化等					

5. コスト構造 各費用の比率をご記入ください

(ア)費用比率	①人件費（_____ %）	④種苗・資材費（_____ %）	合計 100%となるようご記入下さい
	②減価償却費（_____ %）	⑤物流・輸送費（_____ %）	
	③電気コスト（_____ %）	⑥水道費（_____ %）	
	*内訳（照明（_____ %）空調（_____ %）	⑦その他（_____）（_____ %）	
	その他（ポンプなどの機器類）（_____ %）		

6. 主な出荷先と市場出荷・契約栽培の割合 当てはまるもの全てに☒をつけ件数、割合をご記入ください

主な出荷先	☐ 市場出荷	販売額に占める	市場出荷の割合	_____ %
	☐ 市場外出荷 _____ 件 および/または 小売り _____ %、業務用 _____ %		契約栽培の割合	_____ %

7. 新型コロナウイルス感染症拡大による影響／それに対する対策（選択・自由記述）

※コロナ禍により日々の栽培・経営の中で生じた影響と、それに対処するために取った工夫／スマート化が役立つ場面等ありましたら、ご自由にお答えください。					
☐ 人手不足	☐ 販売先・売上げ減少	☐ 販売先・売上げ増加	☐ 資金不足	☐ 調達・流通関連	☐ その他

【調査結果の公表について】

本調査は、統計処理のうえ、結果を取りまとめるとともに、以下の6つの項目の一覧表を作成する予定です。掲載不可をご希望する項目についてチェックをお願いします。 ※チェックがない場合には、公表に承諾いただいたとみなします。

☐ 掲載をすべて承諾しない

☐ 掲載を一部承諾しない

承諾しない項目（☐施設名 ☐組織/事業者名 ☐栽培実面積 ☐施設の型 ☐所在都道府県）

以上で調査は終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和 3 年度
データ駆動型農業の実践・展開支援のうちスマートグリーンハウス展開推進事業報告書
(別冊 1) 全国実態調査・事例調査
令和 4 年 3 月

一般社団法人日本施設園芸協会
東京都中央区東日本橋 3-6-17 山一ビル
TEL 03-3667-1631